

月額コストわずか約5万円、屋根と電気さえあればどこでも使える!

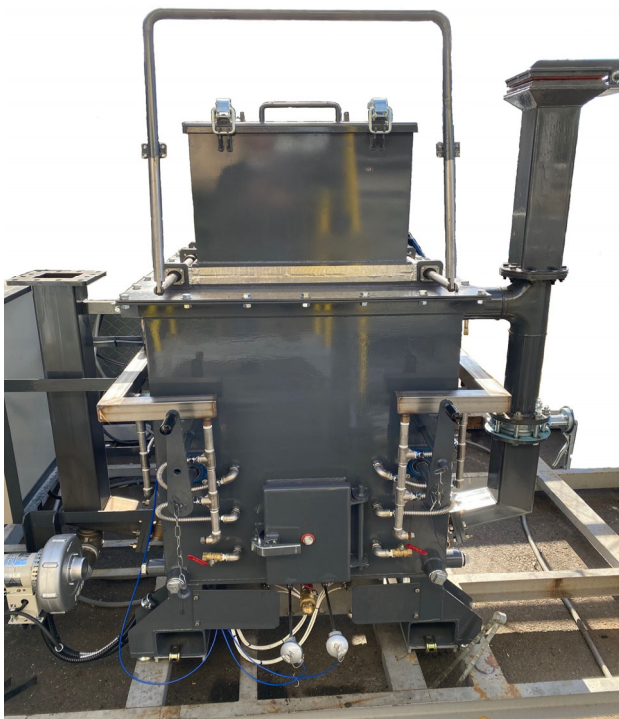
燃料を一切使わず、産廃処理コスト大幅削減、低コスト、有害ガス無し、臭い無し

# Super Waste Processor SWP-80 II

## プラスチックごみ等を低コストで焼却処理する画期的な装置

プラスチック製品、石油化学加工製品、ウレタン、ゴム、固化した塗装塗料、木材、紙、医療用廃棄物等ごみを焼却処理し、わずかな灰にしてしまう、環境にやさしくランニングコストが非常に低い、画期的な磁力熱有機廃棄物焼却処理装置。従来のSWP-80に有った排気ガスを水で洗浄するスクラバーが無くなり、水を必要としなくなったため、屋根と電気さえ有ればどこでも設置出来、熱効率がパワーアップし、タール液も発生無し。ごみの連続投入が可能で、効率良い廃棄と処理とコスト大幅削減が可能。産業廃棄物業者、樹脂加工会社、塗装会社、製造メーカー、展示会場、ホテル、林業、農家、キャンプ場、スタジアム、ショッピングセンター、廃棄家具処理等多くの場所でお使いになれます。脱炭素達成 / カーボンニュートラルで地球温暖化防止に最も適した装置です。

### 新発売 SWP-80 II フラットドアモデル



### SWP-80 II 回転ドアモデル



プラスチックごみ

タイヤ

プリント基板

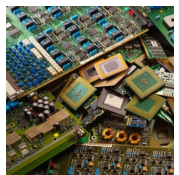
化学製品

段ボール

木材

医療ごみ

おむつ(他ごみと混ぜて)



## 『Super Waste Processor SWP-80 II』の大きな特徴

1. 屋根と電気さえ有ればどこでも使用が可能
2. 石油やガス等燃料を一切使わず、電気だけで焼却処理
3. 電気代月額5万円程度のランニングコストで、産廃費用を大幅削減
4. 排ガス、臭いを出さない  
※排ガス測定検査では、毎回大幅に基準値を下回る数値を実現
5. 高い熱効率
6. 灰は投入時容量の約1/300に減容
7. わずかな灰しか出ないため排出は月に1回で十分。後処理が簡単
8. 廃棄物を連続投入出来るため、効率の良いごみ処理が可能
9. 装置の構造が小型でシンプルなため、故障が無く、メンテナンスも楽
10. 水分を多く含んだおむつ等ごみは紙等と混ぜると早く効率的に処理
11. タールは燃え尽きて排出無し

### 処理可能なもの

プラスチック製品、ウレタン、発砲スチロール、タイヤ、プリント基板、電線、乾いた塗料、石油加工化学製品、段ボール、紙、材木、医療廃棄物、布、廃魚、おがくず、コーヒー豆、チョコレート、ご飯、お米、わら、建設廃材、食品廃棄物等

### 処理不可のもの

鉄、金属、缶、乾電池、アルミ包装袋、ガラス、ピン、石、貝、コンクリート、水分の多いもの

### 大きいもの

投入口幅: フラットドアモデル(530X530mm)、回転ドアモデル(560X高300mm)に入る様切断か破碎が必要

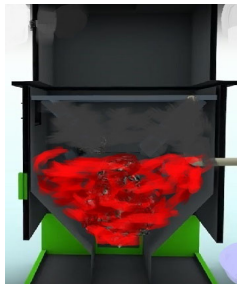
### 医療廃棄物: ボックスごと投入が可能のため安全

600~800°Cの温度で処理出来る事で殺菌が可能

水分の多いおむつ等は他のごみと混ぜると処理が可能

# 燻焼処理後の灰、大型機種SWP-120 II

ごみは上から投入



灰は底部に落ちて貯まる



灰は完全に燃え尽きた白色 **新発売**大型機種SWP-120 II



下のQRコードで、本製品の最新情報や動画をご覧頂けます



## 『Super Waste Processor』が有ると問題解決が出来る場所

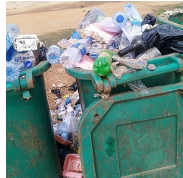
産廃業者



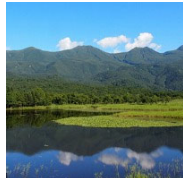
廃タイヤ産廃業者



ごみ回収の来ない僻地



国立公園



孤島(写真:南太平洋ニウエ島) 枯葉や農産物の野焼



山頂



### ここがポイント！

1. 屋根と電気さえ有ればどこでも使える
2. 石油、ガス等燃料を使わないため、燃料継ぎ足し等が不要で手が掛からず楽
3. 電気代はSWP-80 IIの場合毎月5万円前後で、他の費用は掛からず、産業廃棄物処理費用の大幅削減が可能
4. ごみが減った場合24時間いつでもごみを上から追加投入する事が出来、処理効率が高い  
※バッチ方式の場合は処理終了まで待たなければならない
5. 装置の構造が非常にシンプルで故障が少なく、メンテナンスも楽。保守費用も不要で経費が掛からない
6. 灰が投入時の約1/300になり、灰の掻き出しが1か月に1度程度で楽(ごみの種類により変わります)  
※一般的な焼却炉は毎日灰を除去しなければならない

### 焼却炉と何が違うの？

1. 焼却炉はガスや燃料で炎を起こしごみを燃やしますが、燻焼炉は炎が無く、火鉢やバーベキューの炭と同様に熱と煙で分解
2. SWPは燻焼炉方式を用い、二酸化炭素やダイオキシンを発生させない独自技術で処理

### 一般的な磁石ごみ分解炭化炉装置とSWPは何が違うの？

1. 二酸化炭素、有害ガス排出量が極めて少なく、定期的な排気測定試験では基準値を大幅に下回る値を常に記録
2. 非常に優れた熱効率技術
3. タール液は燃え尽きて排出しない
4. 使い易いコンパクト設計

## 『Super Waste Processorシリーズ』の仕様

| 製品名       | 新型 SWP-80 II フラットドアモデル              | SWP-80 II 回転ドアモデル | 新型 SWP-120 II                     |
|-----------|-------------------------------------|-------------------|-----------------------------------|
| 用途        | 一般、箱ごみ (医療廃棄物容器等)                   | 一般ごみ              | 大量ごみ                              |
| 装置寸法 mm   | 1,500 X 1,300 X 高1,800              |                   | 1,800 X 1,800 X 高3,200            |
| 1日の処理量 m3 | 0.5~1.5m3 (重量0.2~0.5ton) ※対象物により異なる |                   | 2.0~7.0m3 (重量0.7~2ton) ※対象物により異なる |
| ごみ投入口寸法   | 幅530X縦530mm 高さはお希望寸法                | 幅560 X 高300 mm    | 幅580 X 縦500 mm                    |
| 消費電力/200V | 3~8kWh                              |                   | 5~15kWh                           |

### 排ガス測定結果 (2021年3月)

| 項目      | 測定結果  | 単位    | 計量方法           |
|---------|-------|-------|----------------|
| ばいじん濃度  | 2.6   | mg/m3 | JIS Z-8808に準拠  |
| 窒素酸化物濃度 | 26    | mg/m3 | JIS K-0104に準拠  |
| 塩化水素濃度  | 2.0以下 | mg/m3 | JIS- K-0107に準拠 |
| 一酸化炭素濃度 | 25    | ppm   | JIS K 0098に準拠  |
| ダイオキシン類 | 4.3   | Ng/m3 | JIS K-0311に準拠  |

販売代理店 **カッティングエッジ**



**Cutting Edge!!**  
カッティングエッジ!!

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-6

TEL / FAX : 03-6822-5613

<https://cuttingedge-tech.jp/>

[sales@cuttingedge-tech.jp](mailto:sales@cuttingedge-tech.jp)

**デモ、お見積りをご希望の方は、どうぞお知らせ下さい**

お問い合わせ先はこちら